

<騒音計 LA-2000/5000 用 サンプルプログラム概要>

騒音計 LA-2000/5000 シリーズ用の RS-232C 通信ソフトです。

「データメモリ読込」「リアルタイムオクターブ表示&ラウドネス読込」の2種類あります。プログラム言語は VisualBasic 6.0 で、ソースファイルと実行ファイル、DLL ファイルを提供します。別売の接続ケーブル AX-5022(¥12,000)で騒音計パソコンと接続して使用します。OSは Windows 95/98/Me/2000/XP に対応しています。

<必要なハードウェアおよびソフトウェア>

IBM-PC または互換機

シリアルポート

ハードディスク

Windows95/98/Me/2000/XP

通信用ケーブル (AX-5022)

<インストールの手順>

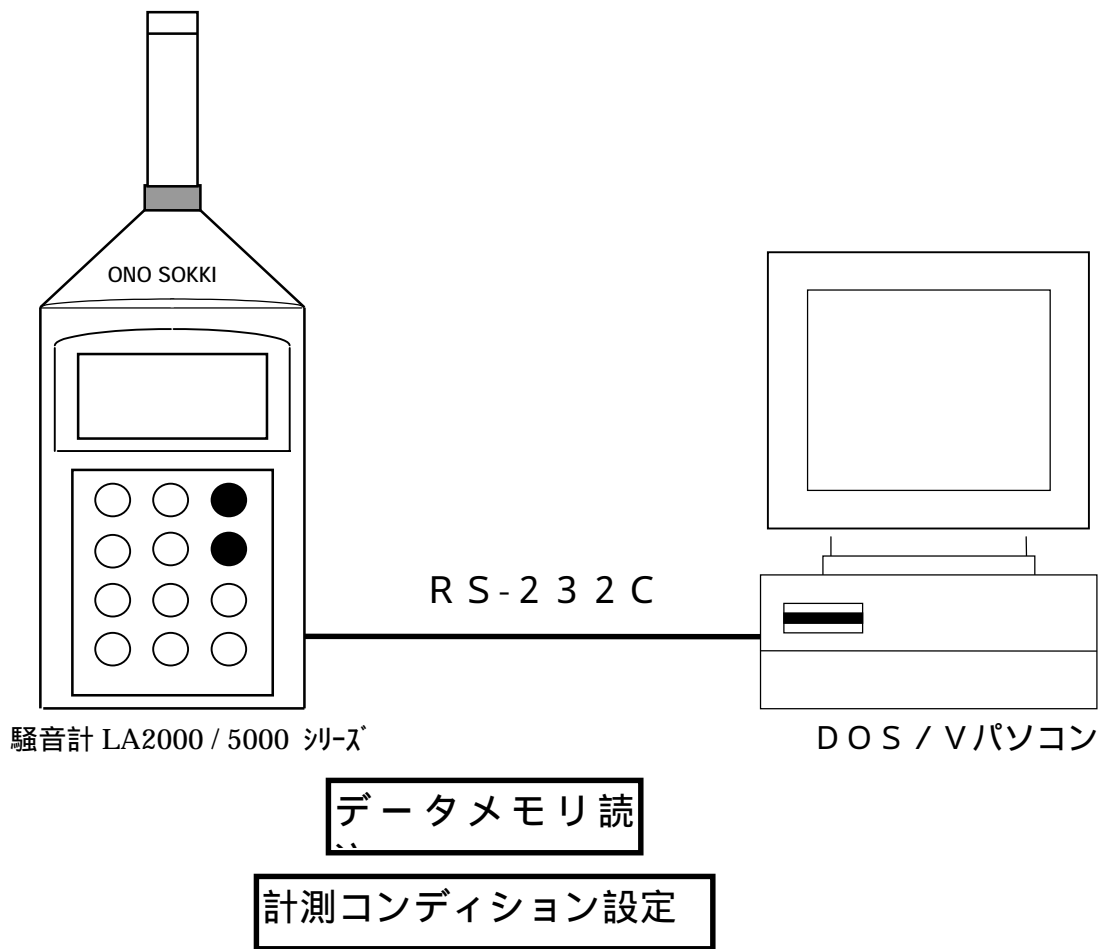
このサンプルプログラムには、セットアッププログラムが付属されています。

1. エクスプローラを起動させてください。
2. LA5000_****.exe という Setup を実行して下さい。
3. 後はセットアップメニューのメッセージに従って作業を行います。
4. セットアップが終了したら、Windows の再起動を行います。
5. 以上でインストール完了です。

<起動>

「C:\Program Files\ONO SOKKI*****」下の「*****.exe」のアイコンをダブルクリックしてください。

ファイル名については、それぞれのサンプルプログラムの Readme を参照してください。



(1) データメモリ読込

< 概要 >

騒音計の内蔵メモリの測定データをパソコン転送しテキスト形式で保存します。

< 特長 >

「騒音計モニタ」では騒音計の表示および設定が可能です。また、測定することも可能です。



「MEMORY」では、騒音計の内部データをテキスト形式でパソコンに保存できます。



(2) リアルタイムオクターブ表示 & ラウドネス読込

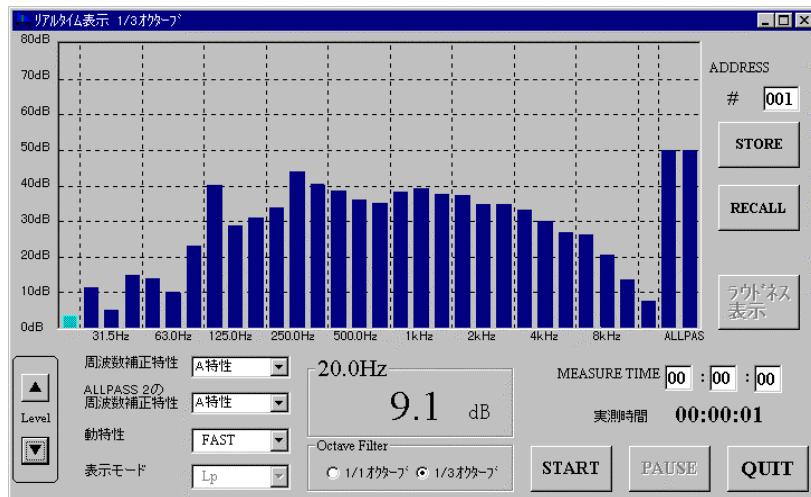
(各分析オプション搭載の騒音計用)

< 概要 >

リアルタイムオクターブのオプション (LA-0563 / 0564) が騒音計に装備されている場合は、オクターブデータを棒グラフでパソコンに表示します。また、パソコンから測定を行いデータを騒音計の内部メモリに保存することができます。

また、LOUDNESSのオプション (LA-0565) が騒音計に装備されている場合は、LOUDNESS値とオクターブデータをテキスト形式でパソコンに保存ができます。

オクターブデータ表示画面



LOUDNESSデータ表示 & 保存 画面